

テーマ

「つなぐ」「つながる」教育の実現に向けて

ねらい

本年度のFD研修会における目的は、3つのポリシーの実体化・実質化である。すなわち、3つのポリシーに沿って大学全体～各学部～各学科の教育のあり方を点検し、教育システムを有機的につなぐこと、そしてその全体像を学生に示すことで、学生各々が卒業後の進路に基づき大学生活における学びを計画し、自らのキャリアデザインを描けるように、指導と支援の充実を図ることにある。

8月のFDでは、3つのポリシーの実体化・実質化を進めるために、取り組むべき課題の共通理解を図った上で、学位プログラム毎に標準パターンマップの作成に着手した。また学生の多様性に対応するために、個別支援が必要な学生の特徴について基礎的理解を深めた。そして、授業をつなぐ教育手法として「PBL」について学んだ。

これらの知見をもとに、9月のFDでは、中期的な見通しに立った学びを実現させるために、学生が4年間を見通した形で学びの方向性と道筋を意識できるよう、必要な材料を完成させることを目標とする。標準パターンマップ作成の際には、年次進行する学びの「縦のつながり」を学生が意識化できるように、マップと情報を過不足なく準備するとともに、学生の学びを支える各部局間の「横のつながり」について確認することも必要である。また、科目間の学びを「つなげる」試みとしてPBLの実施方法について学ぶ。

到達目標

1. 1, 2年生の秋学期リフレクションディにおいて「ラーニング・ルートマップ」のガイダンスを実施する準備が整っていることを目標とする。以下のことについて参加学生とともに作業をすすめていく。

- ①それぞれの標準パターンマップを選択する学生をイメージし、マップの必要性和妥当性について確認する。
- ②標準パターンマップの修正や過不足について確認し、マップを完成させる。
- ③テンプレートの確認と補足情報の確認が完了する。
- ④標準パターンマップのガイダンス資料を完成させる。

2. 秋学期の授業において、各学科1つ以上のPBLを導入した授業が展開され、2月FDでふり返りができる。

- ①PBLの実施方法を学ぶ
- ②8月FDで考案したPBL課題を実施する科目を決定する。

プログラム

□場所：三木キャンパス 4号館 101 教室 他

◆FD 研修会(9：30～17：30)

	開始		分	内容	
午前<170分> (9:30-12:20)	9:30	開会	20	趣旨説明及び内容と目標 (安部高等研センター長)	資料なし
	9:50	プログラム①	30	「標準パターンマップ作成の際の留意点」 (山下副学長)	資料 1-1 資料 1-2
	10:20	休憩	10	(移動含む)	
	10:30	プログラム②	110	「標準パターンマップの完成」(学科別ワーク)	資料 2
12:20-13:30	12:20	昼食	70		
午後<240分> (13:30-17:30)	13:30	プログラム③	60	「標準パターンマップの完成とラーニングルートマップの今後の展開」(山下副学長)	資料 3-1-1 資料 3-1-2 資料 3-1-3 資料 3-2
	14:30	休憩	10		
	14:40	プログラム④	120	「秋学期からの導入に向けた PBL のワーク」(安部高等研センター長/吉田武教育開発部門長)	資料 4-1
	16:40	休憩	15		
	16:55		10	連携校の先生および参加学生のコメント	
	17:05		15	総括 (濱名学長)	
	17:20	まとめ	10	まとめとアンケート記入	
	17:30	終了			

※内容・時間につきましては変更になる場合があります。